

つぎの 文しょうを 読んで、もんだいに 答えましょう。

きのう、ゆうとくとんとけんかをした。ドッジボールで、ぼくは当たったのに、「当たってない。」と言いはったからだ。本当は、当たっていた。

きょうの朝、教室に入ると、ゆうとくんは、もうせきにすわっていた。目が合うと、ゆうとくんは、ふいっとよこを見た。

ぼくも、だまってせきについた。一時間目も、二時間目も、ゆうとくんとは話さなかった。いつもなら、休み時間になると、いっしょに外へ走っていくのに。三時間目は、図工だった。となりのせきのゆうとくんが、何かをさがしている。はさみをわすれたらしい。

ぼくは、自分のはさみを、つくえのまん中に、そっとおいた。

ゆうとくんは、はさみを見て、それからぼくを見た。

「……きのう、ごめん。当たってたよ、ぼく。」

ぼくが先に言うのと、ゆうとくんは、ちよっとわらった。

「ぼくも、言いすぎた。」

休み時間、ぼくたちは、いっしょに外へ走っていった。

(このもんだいのための書きおろし)

(一) きんのう、ぼくは、ドッジボールで何と言いはりましたか。文しょうから十字まで書きぬきましょう。

|   |
|---|
| 当 |
| た |
| っ |
| て |
| な |
| い |
|   |
|   |
|   |
|   |

(二) ゆうとくんが、ふいっとよこを見たのは、なぜですか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア まどの外に、鳥がいたから。

イ まだ、きのうのけんかのことをおこっていたから。

ウ ぼくのことを、知らなかったから。

イ

(三) 三時間目に、ゆうとくんは、何をわすれたらいいですか。文しょうから五字まで書きぬきましょう。

|   |
|---|
| は |
| さ |
| み |
|   |
|   |

(四) ぼくが、はさみをつくえのまん中においたのは、どんな気もちからですか。三十五字まで書きましょう。

|  |   |   |
|--|---|---|
|  | て | こ |
|  | 、 | ま |
|  | な | っ |
|  | か | て |
|  | な | い |
|  | お | る |
|  | り | ゆ |
|  | を | う |
|  | し | と |
|  | た | く |
|  | い | ん |
|  | 気 | を |
|  | も | た |
|  | ち | す |
|  | 。 | け |

## 【小2】国語 文章問題 物語文 5 答えと解説

問一（二十五点） 答え：当たってない

解説：一つ目のまとまりから。本当は当たっていたので、ぼくがわるかった。

問二（二十五点） 答え：イ

解説：きのうけんかをしたばかりで、まだなかなかおりしていない。

問三（二十五点） 答え：はさみ

解説：三時間目のまとまりから。

問四（二十五点） 答えの例：こまっているゆうとくんをたすけて、なかなかおりをしたい気持ち。

解説：このあと、ぼくは自分から「ごめん」と言っている。二つが入っていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

- ①こまっているゆうとくんをたすけたい
- ②なかなかおりをしたい